

令和5年度 第2回飯山市美術館運営協議会 会議録

○開催日 令和6年2月16日（金）午後3時30分～4時55分
○開催場所 飯山市公民館101会議室
○出席者 委員： 廣靖彦 高山顕光 吉越隆師 千坂義悦 明石洋一 前島憲一郎
佐藤環 ※2名欠席（阿部拓也・篠原敦子）

市側： 松木英文（教育長） 田中良則（文化振興部長）
井端伸介（美術館長兼美術館係長） 服部節子（美術館職員）

1 開 会

2 あいさつ

会 長： 僕は羽広山に住んでおりますが、今年の冬は非常に雪が少なく大変ありがたいと思う一方で、世界各地で戦争があったり能登の地震とか不安な事もいっぱいあります。

話は全然違いますが今年の春、私が初めて教師をして高校生を卒業させたクラスの何回目かのクラス会があり大阪に行ってきました。なんとその生徒達が70才です。私が80才になりました。だからもうクラス会というよりは老人会みたいな感じだったんですが、皆、非常に元気でこれからも頑張ろうなということでひと時を過ごすことができました。

今私は、栄村の中学校に週に1度だけ授業を頼まれて行っておりますけれども、やっぱり若い、中学生ですけどもその力は、凄いい作品の色が出来たりして大変神々しい影響を受けております。美術館の運営もいろんな点で大変だと思いますが、皆様のご協力でもう出来るだけ活発に運営出来ますようによろしくご協力をお願いします。

教育長： 皆さんこんにちは。美術館の運営協議会にご参加いただきありがとうございます。一年間、今回も委員としてよろしくお願いします。今日は今年一年間の運営事業の振り返りと来年度とそれ以降の美術館の取組み、どんなことをやっていったらいいかなどの案やご指示いただきまして、飯山市のこの美術館が今以上に魅力があって大勢の人達に来ていただけるような館になればいいなと思っております。そのような再考等目指しながら前向きにご協力をいただければありがたいと思っております。お世話になります。よろしくお願いいたします。

3 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

会 長： 進行もなかなか行き届かないところも多いと思いますが、よろしくお願いします。

（1）令和5年度事業について（報告）

事務局： （次第と資料のとおり説明）

会 長： 私も大阪の高校で美術を教えていたり美術館を借りたりして色々と企画をしましたが、本当に大変だと思います。いろんな労力や経済的な事もありますし、大変だと思いますが、いろいろな事をやっていただいて凄いなと思っております。何かご質問とかありませんでしょうか。

委 員： 企画展では市バスを出していただいて本当に助かりました。急遽お願いというところも

含めて対応していただいて、学校としても今後継続しながら美術鑑賞を広げていきたいと考えております。まずは一年目という事で本当にありがとうございました。

会 長： 星野さんは羽広山に今住んでおられます。私も羽広山におるのですが、そこへ移住される前に、森の家の紹介で相談に来られて色々お話をさせてもらった事もありまして、非常に親しくしていただいておりますが本当に素敵なお方です。ご家族も素敵だと思います。雪の足跡で今日は鍋倉へ行ってるなど分かるくらい、よく鍋倉の方へ上がっています。まだ羽広山は真っ白ですからそんな状態です。

私も小さなサークルですけども、飯山の絵画サークルを湯の入り荘とか手伝わせてもらっていて、そこで制作活動した作品を展示しますが、展示が時々変わったりすると雰囲気が良いと思って喜んでおります。

何かご質問ございませんか。後からまた全部まとめて聞きますので次へ進みます。

(2) 令和6年度事業計画(案)について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局： (次第と資料のとおり説明)

会 長： 何かございませんでしょうか。企画も意欲的に取り組んでいただいていますのでびっくりしていますが、何かご質問やご意見などありましたらどうぞ。ないようでしたら、また何かもし可能であれば組み入れていただけることもあるかもわかりませんし。他に全般を通しまして何かご質問とかご意見がありましたらお願いします。

委 員： 来年度の運営がある程度固まっているのであれば、年度末から年度初めにかけて、6年度の企画展開催スケジュールを各学校にインフォメーションしときたいと思いますがいいですか。

事務局： よろしく願いいたします。

会 長： 他に何かありませんか。どんな事でも結構ですので何かありましたらどうぞ。この協議事項の後でも気づかれた事がありましたらいつでもおっしゃって下さい。

(3) 令和7年度以降の企画展等について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局： (次第と資料のとおり説明)

会 長： 説明を聞かせていただいて、これからの事、それからもう少し更に先のお話など、大変意欲的に取り組んでいただけるようでワクワクしています。皆さんもしご意見等ありましたらここで出していただいても結構です

先程言いましたように、週に1回ですが栄中に行って授業をさせてもらっていますが、あそこだからそうなのかもしれませんが、全体に若い人がどんどん数が減っているというか、栄中の場合は1年2年3年生合わせて15人をやっとならぬかどうかなのでから合併とかそんな話もありました。これからいろいろな意味で世の中変わっていきますし大変だと思いますが、凄く意欲的にいろんな事に取り組んでいただいているようですので、皆さんもご意見がありましたらどんどん出していただけたらありがたいと思います。

委 員： 委員に選ばれてから初めて出席させていただきます。皆さんとは初めてお会いする方が多いと思います。今のお話もそうですけれども、子どもが減ってくる、地元で活動している方も減ってくるという中で、世界に目を向けて世界にライトを照らしていくような方向で動いていくのは素晴らしいと感じています。実はこれまだ私の頭の中の計画ですので組合としては全然動いてないですけども、飯山仏壇を今ヨーロッパに持っていったという段取りを少ししています。日本の認識ですとやはり仏教用具としてのだけの認識しかありませんので、まずそれを打ち破ろうと思って色々計画をしています。やはり世界に目

を向けていことは凄いなあと改めて感じていますので、しっかりまとめさせていただきたいと思います。

会 長： 今おっしゃっていただいたように、新しいものには今の時代のいろんな息吹を感じるものがありますが、もう一方で忘れてはいけないのが古くから歴史的にずっと磨かれ築かれてきたものがあるはずで見逃していくおろそかにするのは文化の物凄い損失だと思います。具体的な事はまだ何にも浮かびませんがなんか上手くいって欲しいと思います。他には何かご質問とかご意見とかありますでしょうか。

委 員： 資料にも載っていますが今年、高校生がバスで送り迎えをしてもらって美術鑑賞の場をいただいて本当に感謝しています。初めて来たという生徒が結構いまして、美術館自体行った事がないという生徒がいっぱいいました。写真展は説明をしないで鑑賞しましたが、結構楽しかった、面白かった。これからも実施するというお話ですけど、今年もそういう企画をしてもらって嬉しいと思っています。どの企画展で連れて来れるかですけど、自由時間の移動がなかなか変更するのが難しいので、時間に合わせてバスを運行していただいたのは非常に助かりました。本来ならばもうちょっと時間があって少し長く時間をかけて鑑賞出来れば良いのですが行き帰り含めて 50 分。非常に超特急です。それでも生徒達にとっては初めての体験が出来て良かったということです。

これからの作品展のところで現代美術家たちを取り上げていくのは非常に良いと思います。若い子たちに対してどうアピール出来ていくのか、結構若い子たちは現代美術に対して非常に親しみを持っている感じはします。例えばもう現代美術とは言わないかもしれないですけど、アメリカのキース・ヘリングのバッグを持っていたりとかシャツを着てたりとかそういう感じになってきていますのでどんどん現代美術、現代作家を取り上げてもらえるともっともっと若者が集まってくるのではという感じを持っています。それを理解するかどうかはわからないけれども、ファッションとして感じられるような作品展になっていく感じもします。

委 員： 私は普段インターネットとかよく見るのでインスタグラムの情報もよく見ますが、飯山市美術館は市の HP の中に 1 ページがあってわりと話が多いというか、今やっている展示とかの情報がない。そういう情報が見れるとより若い人がネットを通じて興味が湧くと思います。

会 長： 今、いろいろな意見が出ましたが、他にも感じられているとことかあったら遠慮なく言っていただけたらありがたいです。出来るかどうかは別にしても、やはり新しい息吹が入ってくるというのは凄くいい事だと思いますので、遠慮せずに何かありましたらおっしゃって下さい。

委 員： 先程、千坂先生からもお話ありましたが美術館、素晴らしいと思います。2 階が伝産会館で 1 階が美術館になっていますけど、申し訳ないですが長野県には他にないです。伝産会館は全国で 24 か所しかなくそのうちの 하나가飯山市にあります。長野県のここにあるということ、おそらく県の伝統産業振興協議会というのがあるのですが、そこで話してもこの建物を知らない人の方が多いです。去年、木曾漆器の組合の皆さんがここに来られ、当然美術館も観ていただきましたが、伝産会館のことを知らないです。長野県の伝統工芸品が全部展示してある所はまずありませんので、まずここへ来ていただくという仕組み、若い人達が来てここを知ったということなので、取組みとしては素晴らしいと思います。入館者数 5,600 人を倍にするのは厳しいですけど、次の年は 1000 人多く、2000 人多くというふうに上を上を見て前を見ていかないと、なかなか若い方々には伝わっていかないと実感していますので、井端館長筆頭に皆さん素晴らしい企画をされていると思います

ので頑張っていきましょう。

会 長： 他にはどうでしょうか。僕も飯山に来てから 20 年弱しか経っていませんけど、うちの集落を見ていると移住者の方が非常に多いです。そういう人は独特の目や見方、覚悟があるのかも知れませんが、資料を見ると、（飯山に移住した作家を取り上げるなど）物凄くいろんな意味で前向きに積極的に取り組んでいただいているように見えるので、これは嬉しいなと私は思っております。何か他にももしご意見等ありましたらどうぞ。

（４）入館料について

事務局： （次第と資料のとおり説明）

委 員： 企画展の時も同じ入館料でしたか。

事務局： 以前、白隠展の開催時に 500 円にしたことがあります。企画展開催時は違う料金設定にした方がと思いながらそれを決めないで 300 円のままにしています。

委 員： 企画展の時は少し上げた方がいいのではないのでしょうか。1,500 円とか。たとえば東京なんかの企画展だと 2,500 円とかで安いところでも 1,500 円です。東京都美術館もそうです。企画展の時は 1,000 円ぐらいに上げて、通常の展示も 300 円は凄く安いと思うので 500 円ぐらいにしたらと思います。

会 長： 他の方がいかがでしょうか。

委 員： 建物を見ても分かるように入館料 300 円は安いでしょう。これは運営協議会で決定するものなのではないでしょうか。

事務局： 最終的には条例改正が必要になります。後ろ盾として協議会の皆さんの意見を伺うことは、方向性を定めるうえでとても大切になります。

委 員： 安いと思います。あれだけ空調をまわしているのだから、たぶん相当きついだらうと感じています。

会 長： 入館料の件について他の方はいかがですか。入館者数が多ければ良いですが、いろいろな事情がありますから入館者数をどんどん増やしていくのはなかなか難しいので、何か前向きにやろうとしたり、あるいは規模をそれなりに保っていこうとかいろいろ動くと、今の入館料では安すぎるんじゃないかと思っています。

委 員： これは損益も算出したりするんですよね。

事務局： する予定ですが、今はないです。前提として赤字でもいいみたいなスタンスできているんですけど、監査とかの目で見ると公共施設であろうとも利益と費用のバランスなどをみていきたいと思いますという指摘もありますので。

会 長： なかなかどの辺の観点から言っているのか判りませんが、安いというのは絶対そう思います。また同時に考えるのは内容の問題以上にどれだけ入館者が見込めるか。どうしても入館率っていうのが頭に入りますから、その辺が一つのネックになっていると思いますがいかがですか。今の入館料は文化施設の意味についていろいろ考えたりすると、多分多くの方は安すぎると思われるのではないのでしょうか。

事務局： また、次回も会議ありますので、いくつかまたパターンを出しながらご検討させていただきたいと思います。

会 長： 全般を通してご意見やご質問あれば出していただけたらと思います。

事務局： では大きな 4 のその他でよろしいですか。

4 その他：委員の任期について

事務局： 美術館運営委員の委員の皆さんにつきましては、ちょうどこの令和 5 年度の終わりが 2

年あるうちの1年目終了になります。正確に言いますと4月の末までが1年目の終わりとなり、任期2年という事ですので来年の4月の30日までが任期となっております。引き続きよろしくお願いいたします。以上です。

会 長： 特に別に意見はないと思います。本当にいろいろ観点を変えたり努力していただいていると思います。

事務局： もう一点お願いします。今、公務でここを出られました高山委員さんにつきましては、この3月31日をもって高山先生のご都合により任期が修了となります。高山先生の後任につきましては、校長会長の方に推薦依頼をお願いしまして3月の教育委員会定例会に諮りまして、4月1日付で委員になっていただく方に依頼をさせていただく予定になっております。

会 長： 以上で終わりのように思いますが、何か他にご意見とかご質問等ありましたらどうぞ。ないようでしたら、今日はこれで終わりとします。

5 閉 会